

ITER理事会等の結果について

平成 9 年 2 月
科学技術庁原子力局

1 ITER工学設計活動の現状について

1) 平成 8 年 1 2 月 1 7 日及び 1 8 日、東京で第 1 1 回理事会を開催

・主な内容 ○ITER 詳細設計の報告

・ITER 全体の製作過程も見通した設計

・組立手順

・安全解析

○理事会は、同報告書を受領し、各極に提示

○各極は、それぞれ評価を進め、次回理事会（平成 9 年 7 月、
欧州）にて詳細設計を確定の予定

・我が国は、原子力委員会核融合会議において評価を実施

2) 平成 1 0 年 1 月に最終設計報告がなされ、同年 7 月に ITER 工学設計活動
終了の予定

2 ITERの建設等に関する国際協議について

1) ITERの建設、運転、利用等の段階について、ノンコミットルベースで検討する建設等準備協議の第 2 回目が平成 8 年 1 2 月 1 7 日東京で開催され、
ITER 計画に関する各極の状況（別紙）、今後の進め方に関する意見交換
等を実施

2) 建設等準備協議を平成 9 年末または 1 0 年始めまで実施することとし、この
間

・国際協定の枠組み

・立地の提案の手順

・参加とコスト分担の考え方

等に関し協議を進める。準備協議を踏まえ、ITERの立地、建設等に関する合意を得るため、建設協議を開始

3) 現時点における今後の予定は以下の通り

第 3 回 平成 9 年 4 月 欧州

第 4 回 7 月 欧州

第 5 回 秋 場所未定

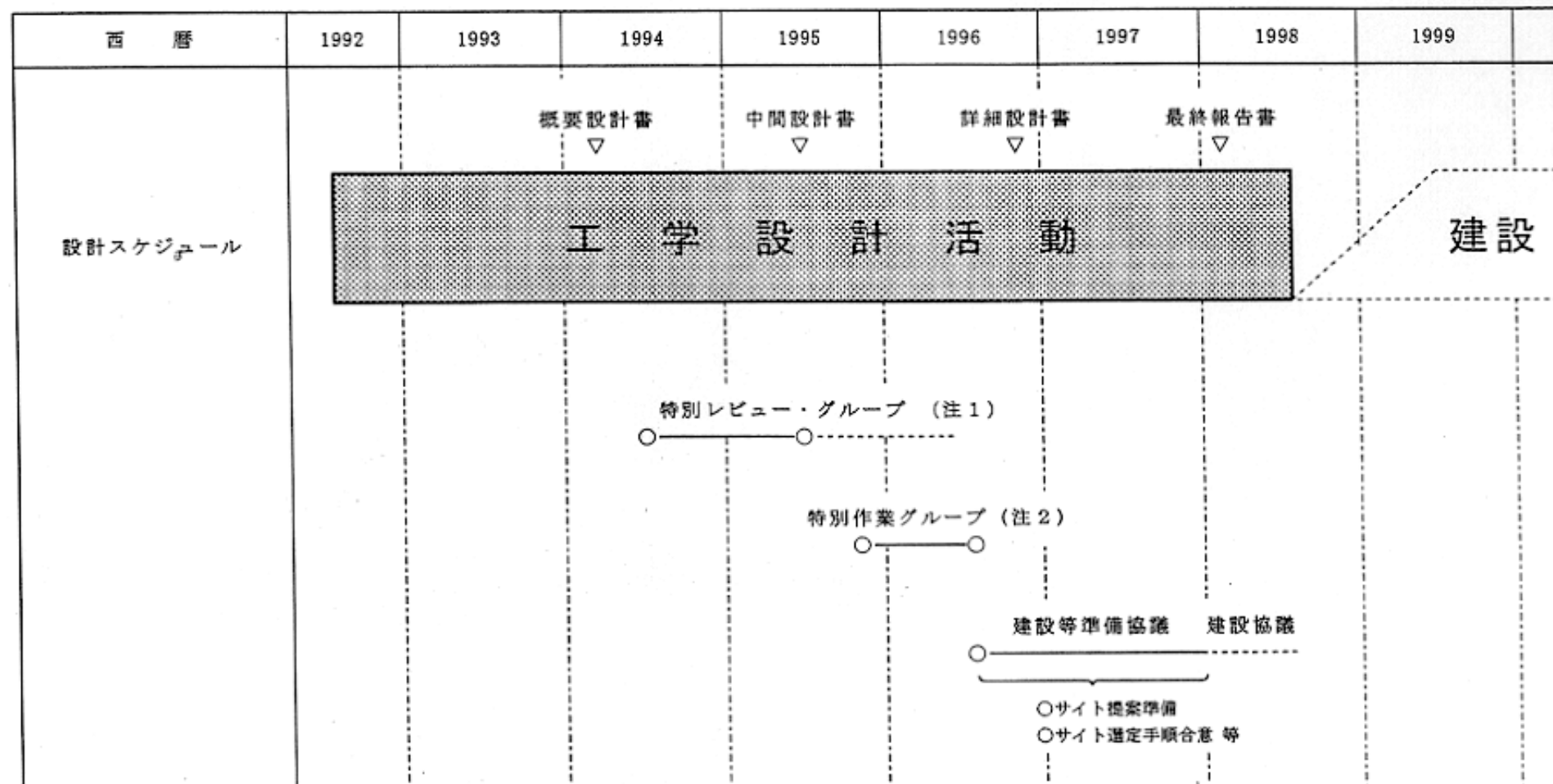
4) 建設協議

○平成 1 0 年初め頃から

各極の取り組み

	ITERへの取り組み	核融合計画等
米 国	○ 97年度核融合予算は、前年とほぼ同（平成8年8月） じ同水準（96年度244M\$、97 年度33M\$）	○ エネルギー省により新核融合戦略 策定 ・ プラズマ科学の推進 ・ 核融合サイエンスの追及が国内計 画の中心 ・ 核融合エネルギーは国際協力で実 施
	○ ITER設計評価を実施中	
	○ 97年度欧州核融合予算は全体で約 500MECU	
欧 州	○ 核融合エネルギーは将来のエネルギ ー源として必要な選択技であり、IT ER実現はEUととして重要との認 識	○ 欧州委員会により5年毎に策定 ○ 現在、時期計画（1999年～20 03年）策定のための作業中
	○ 核融合研究評価委員会（バラバスキ委 員会）でITERの域内建設を提言	
	○ 独・仏研究大臣の共同宣言、伊研究大 臣の発言あり	
露	○ ITER計画は連邦政府レベルで取 り組む優先度の高い計画	○ 1997年～98年までのITER 計画実施のための財政支出を連 邦政府決定
	○ 建設に関して早期に具体的用途を立 てることが重要と認識	
	○ ITER建設協議への参加の意思を 表明	

ITER計画スケジュール（想定）



注1) 特別レビュー・グループは、技術、安全、環境等に関するITER建設サイトの要件を検討する。

注2) 特別作業グループは、ITERサイトの選定方法、ITER建設運転主体の在り方等について、建設協議に先だって提案を作成する。